

小地域ネットワーク活動支援ソフトの開発プロセスと留意点



藤田 欽也¹⁾ 齊藤 雅茂²⁾ 佐藤 真澄³⁾ 平野 隆之²⁾

1) 日本福祉大学福祉政策評価センター 2) 日本福祉大学社会福祉学部
3) 日本福祉大学地域ケア研究推進センター

目的

独居高齢者の社会的孤立への対策として、「小地域ネットワーク活動」へのニーズが高まっている。こうした小地域ネットワーク活動には見守る側と見守られる側が存在し、その実績把握には複雑な情報管理能力が求められる。我々が開発した「小地域ネットワーク活動支援ソフト」の開発プロセスを整理し、小地域福祉推進に向けた同ソフトの開発・運用における必要な要素を検討する。

方法

すでに他の地域で開発後・運用している「小地域ネットワーク活動支援ソフト」の経験を踏まえ、これまでの市町村レベルではない県レベルの単位で、13の山口県下市町社会福祉協議会と同ソフトの開発に取り組んだ。実際の現地検討会は、協力していただく県下5市町社会福祉協議会と8市町社会福祉協議会のオブザーバー参加により組織した。毎回の検討会には、研究者が2名以上参加し、当日の議論を記録し、それらを踏まえて同ソフトの仕様を作成した。

本報告では、現地検討会のほか内部研究会などの資料・記録に基づいて、同ソフトの開発プロセスを整理した。また、ソフト開発における必要な要素に関しては、同ソフト開発に関わった共同研究者との論議・整理した。

結果

(1)「小地域ネットワーク活動支援ソフト」の開発プロセス

現地で行った検討会等により、以下の意見が得られた。

- ①見守る人と見守られる人を地図上に表示できるように
- ②個人情報漏洩対策ができるように
- ③LANを利用して、複数の利用者が同時にシステムを利用できるように

(2)「小地域ネットワーク活動支援ソフト」の開発する際の留意点

- ①個人情報漏洩への危惧を踏まえて、情報の取り扱いに充分注意すること
例) ソフトの利用者ごとにデータの参照や登録できる地区を設定することができる
- ②個人情報の入手が困難なため、現地での丁寧な検討を行い理解を得ること
- ③データ登録作業の負荷により利用意識が低下の際は、一旦地区を限定し、利用者に効果を確認してもらうこと

(3)「小地域ネットワーク活動支援ソフト」の開発に必要な要素

- ①見守る人と見守られる人を組み合わせで把握できる
- ②要援助者(見守られる)1人ずつの支援方法や課題の変化の記載ができる
- ③協力員(見守る)の支援に関する情報管理ができる(地域を支える力となる)
- ④社会福祉協議会(行政)の支所でも入力した情報を本所でも確認できる
- ⑤利用希望の市町では、「地図表示ソフト」を導入できる

(4)「小地域ネットワーク活動支援ソフト」の活用

「小地域ネットワーク活動支援ソフト」は、2012年4月より本格的に利用が開始され、最終的に14市町の社会福祉協議会において、利用されている。現在、27,000人以上の要援助者情報の登録が完了している。(ただし、登録された要援助者が全員見守り対象者ではない。)

考察

本結果より、以下の3点の考察を得られた。

- ①19市町のうち14市町で利用されているという結果は、開発プロセスで現地での検討会を重ね、さまざまな留意点に取り組んだ結果である。
- ②要援助者の情報管理にとどまらず、協力員の支援の管理をすることによって、小地域福祉の推進に貢献できる。
- ③「地図表示ソフト」の導入を契機により多くの参加が確保されたと考えられる。

現在、ソフトの利用が進んでいる状況のため、今後は、見守りに関する実績を出力できる機能を追加することが求められている。

本研究は2010年～2014年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業(社会関係再構築に向けた地域福祉の解決のデータベースの開発と評価)の一環として行われた成果の一部である。

連絡先 日本福祉大学福祉政策評価センター 藤田 欽也
Mail k-fujita@n-fukushi.ac.jp

＜支援ソフトの開発プロセス＞

日程	内容	研究者数	参加者数
2011年3月	事前協議	3人	5人
"	学内検討会①	3人	
2011年5月	ソフトにかかる実施方針等説明会	3人	55人
"	学内検討会②	3人	
2011年7月	①地図ソフトの連携システム会議	2人	5人
"	第1回検討会(モデル市町との意見交換会)	3人	15人
"	学内検討会③	3人	
2011年8月	第2回検討会(モデル市町との意見交換会)	3人	17人
"	学内検討会④	3人	
2011年10月	②地図ソフトの連携システム会議	2人	10人
"	データ入力作業の開始		
2011年12月	試行事業説明会(2か所)、ソフトの配布	3人	39人
2012年2月	試行版の導入、地図ソフトの導入(5市町)		
2012年3月	第3回検討会(施行実施の状況について意見交換)	3人	17人
"	ソフト完成版の配布		

＜見守られる人(要援助者)情報登録画面＞

＜ネットワーク会議で用いられる要援助者台帳＞

氏名	住所	電話番号	生年月日	性別	関係(二人称)	電話番号	住所	居住地区	民生委員
日本 花子		0123-45-6789	昭和10年10月10日	女性	協力員G		地区A		協力員G
その他(困っていること等)									
安否確認	買物	自立	経済不安	認知症	介護	家族関係	その他		
緊急連絡先1	金銭管理								
緊急連絡先2	通院	タクシーで通院している							
緊急連絡先3	近隣関係								
緊急連絡先4	近隣関係								
主なかかりつけ病院	〇〇内科クリニック								
利用サービス	(在宅サービス) 上野一八日、下野二八日								

＜見守られる側と見守る側の組み合わせ登録画面＞